

# 津波避難訓練アプリ「逃げトレ」でできること

このアプリは、研究者が提供する信頼度の高い浸水シミュレーションデータを用い、津波に対する自分の避難状況の安全性が、グラフィカルな表現と効果音やアナウンスなどで刻々分かるようになっていきます。また、避難の過程では、避難の成否を左右するいくつかの判断が迫られます。「いつ避難を始めるか」、「どこに避難するか」、「どの道を通っていくか」・・・逃げトレは、自分の避難行動を分析し、最適な判断に役立つデータを提供することで、よりよい避難を考えられるように工夫されています。

## 想定に基づいた避難訓練



いま、津波がどこまでやってきているのか、5分後、10分後にはどこまで来るのか、避難先をどこにするのか。地図と音声で確認しながら、臨場感のあるトレーニングができます。津波浸水データは研究による最新の想定に基づいています。

## 避難訓練をその場で分析



終了後、すぐにその場で、避難は成功したのか、失敗したのか確認することができます。失敗した場合、「あと何分早く避難を始めるべきだったのか」や、「どこで津波に追いつかれたか」、「どのルートがより安全なのか」などがわかります。

## 避難訓練を記録



トレーニング結果はスマホに記録しておくことができます。前回よりよい結果になるように、工夫して訓練を繰り返し、確実に避難できるようにしましょう。「逃げトレアルバム」にメモを書き込めば、私だけの「避難カルテ」ができます。

# アプリの流れ



# 避難訓練データの活用

訓練は一人ひとり別々に実施できますが、みんなのデータを集めれば、その地域で人々がどのように避難するかが見えてきます。これは、地域の危険な場所はどこか、避難者が集中するのはどこか、どこに避難路や避難場所を作るのが効果的かを検討するための重要なデータとなります。数年後にはこのデータを活用して、避難路の見直しや整備、避難場所が適切に設定されているかのチェックを行い、避難計画の見直しや避難場所の整備に活用します。



※画面画像はイメージです。改良のため予告なく変更する場合があります。

このアプリは、内閣府戦略的イノベーション創造プログラム 課題「レジリエントな防災・減災機能の強化」⑦地域連携による地域災害対応アプリケーション技術の研究開発「津波避難訓練および支援ツールの開発研究」により開発しているものです。

お問い合わせ先

〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄 京都大学防災研究所 矢守研究室内「逃げトレ」開発チーム 問い合わせ窓口  
E-mail : sip-yamori@drs.dpri.kyoto-u.ac.jp

詳しくは逃げトレウェブサイトへ  
<http://www.nigetore.jp>  
 使い方ガイド動画やサービス提供範囲などをご覧いただけます。

無料

津波避難訓練アプリ

# 逃げトレ

想定される津波から  
逃げのびろ!



リアルな津波避難トレーニングと  
地域の津波避難プラン策定を支援するスマートフォンアプリ

「最大の津波被害軽減策」とされる「早期避難」。いざ!というときに確実に避難できるようにするためには日頃から避難に関する問題を個人ごとにつかんで対策を考える訓練が欠かせません。逃げトレを使えば、「いつでも、だれとでも、思い立ったらその場で気軽に」津波避難のトレーニングが可能です。画面上の津波シミュレーションを見るだけにとどまらない疑似体験によって、自分の行動や対策について考えるきっかけになります。



グッドデザイン・ベスト 100  
グッドデザイン金賞 受賞



## リアルなパーソナル避難訓練



逃げトレは、自分のタイミングで気軽にトレーニングできる個人用避難訓練アプリです。スタートも、ルートもゴールも自分で決めて、実際の避難と同じ体験を試みましょう。

## 迫りくる津波から逃げろ



想定されている津波浸水深を確認し、どこに逃げるか検討しましょう。スタートしたら周囲に注意しながら、想定津波に追いつかれないようにできるだけ早く避難しましょう。

## 自分だけの避難カルテに



訓練結果は訓練アルバムに記録されます。振り返って気づいたことをメモに残せば自分だけのオリジナル避難カルテに。いざという時のために繰り返しトレーニングしましょう。